

## NEWS 遠野市史編さん民俗部会が発足しました

10月6日(火)、第1回遠野市史編さん民俗部会が開かれ、9名の委員に市長から辞令が交付されました。民俗部会は、令和9年度の『新編遠野市史 民俗編』刊行を目指し設置された専門部会です。

会議では、「民俗編」編さんの基本方針や『遠野物語』の取り上げ方などについて活発に議論が交わされました。岩崎真幸<sup>いわさきまさき</sup>部会長は、「チーム力を大事にし、個人の成果の寄せ集めではなく、全員で作りたい」と述べていました。

民俗部会では今後、市内各所で調査を行い、それをもとに執筆を行うことになっています。祭礼、冠婚葬祭などの調査や、昔の遠野を知る方からの聞き取りも行う予定となっていますので、市民の皆さまのご協力をお願いいたします。

### 遠野市史編さん民俗部会

岩崎 真幸	部会長 / 遠野市史編さん委員
荒田 昌典	元市職員
小笠原 晋	元市職員
川島 秀一	東北大学災害科学国際研究所シニア研究員
後藤 美穂	北上市教育委員会
小向 孝子	元市職員
小向 裕明	元市職員
丹野 香須美	福島県文化財保護審議会委員
前川 さおり	市史編さん室次長



▲会議の様子



▲民俗部会委員の皆さん

## NEWS 遠野市史編さん現代編部会が特別表彰を受けました



▲表彰式の様子

10月1日(木)、遠野市民センター大ホールで開催された遠野市市制施行15周年記念功労者表彰式において、遠野市史編さん現代編部会が特別表彰を受けました。

これは、「市史編さん事業の大きな第一歩となる「現代編」編さんの推進に尽力し、市民協働の自治体史編さんの先駆的モデルの中心的な役割を担った」ことを評価されたものです。

当日は、部会長を務めた今野日出晴<sup>このひではる</sup>委員と山影勝美<sup>やまかげかつみ</sup>委員が代表して賞状と記念品を受け取りました。

市史編さん室では、古い時代の資料や館跡を調査しています。  
古文書や古写真をお持ちの方は、ぜひ市史編さん室までご連絡ください。



## 調査レポート

### 市指定有形民俗文化財「十月仏」の調査を行いました



▲六字名号の掛軸を調査する様子

#### 用語解説

\*六字名号…ろくじみょうごう。

南無阿弥陀仏の6文字のこと。阿弥陀仏に帰依する（深く信仰し、よりどころとする）という意味。

遠野をはじめ岩手県には、マイリノホトケという阿弥陀仏や聖徳太子、六字名号\*を描いた掛軸を拜む風習があります。旧暦10月に拜むところから、遠野では「十月仏」と呼んだりもします。

今回は市指定有形民俗文化財に指定されている掛軸14点（うち附7点）を所有者からお借りし、遠野市立図書館で調査を行いました。掛軸のうち一幅には天文7年（1538）と記されており、これは遠野市内で確認されている同様の資料の中で最古のものでした。

調査を行った菅田慶信委員（原始・古代・中世部会）によると、阿弥陀仏が放つ光の描き方や像の大きさにより年代が推測できるほか、六字名号の書き方にも宗派によって違いがあるとのこと。今後は他の十月仏についても調査を行い、型式の違いなどから遠野におけるマイリノホトケの特徴について研究を進める予定です。

## 調査レポート

### 大宝山東禅寺所蔵資料の調査を行いました

10月19日、20日の2日間、盛岡市の大宝山東禅寺において、同寺に伝わる資料の調査を行いました。調査を行ったのは、原始・古代・中世部会のうち中世・文献グループの委員5名です。

東禅寺は、当初附馬牛町東禅寺にあり、無尽妙什和尚によって開山されましたが、江戸時代初期に盛岡に移りました。その遺跡は昭和33年（1958）に発掘調査が行われ、門や仏殿の跡が発見されたことから、禅宗古来の伽藍配置をよく留めている稀有な遺跡であることがわかっています。しかし格式の高い寺院でありながら、東禅寺が遠野にあった時代の資料は残念ながらほとんど残っていません。

今回の調査では、東禅寺および末寺の由緒や寺宝をまとめた古文書のほか、弘法大師が筆写したと伝わる「般若理趣経」などの調査を行いました。



▲古文書調査の様子。紙の種類や長さ、文字の様子などから、資料の来歴を推測します。

東禅寺は、県立中央病院からほど近く、盛岡バイパスのすぐそばにあります。墓地には、初代藩主の南部利直や、俳人の山口青邨の墓がありますよ。

